小野市議会だより

2026. 11
No. 224

特集

一般会計・特別会計・企業会計

令和7年度　決算認定

～予算の執行状況と事業の成果を審査しました～

おの幼稚園



トイレカー



#7119



新都市南北線

令和7年度 決算認定

9月定例会に提出された決算に係る議案を予算決算常任委員会に付託し、一般会計、特別会計及び企業会計の決算について、審査を行いました。

2日間にわたり、市が目的に沿って予算を適切に執行したかを慎重に審査し、その結果、全会一致で認定いたしました。

◆小野市の次代に向けた飽くなき挑戦◆

歳出決算額

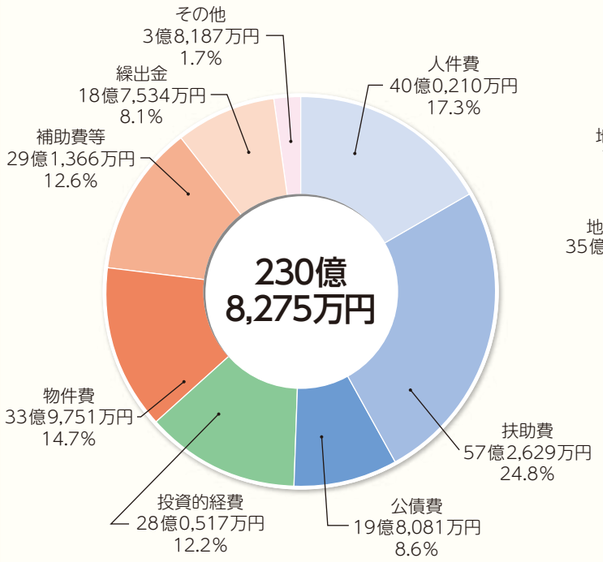
一般会計	230億8,275万円
特別会計（国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療）	97億2,720万円
都市開発事業会計	1,048万円
水道事業会計	18億0,099万円
下水道事業会計	25億9,109万円

＼詳細は市ホームページで／



歳出 230億8,275万円

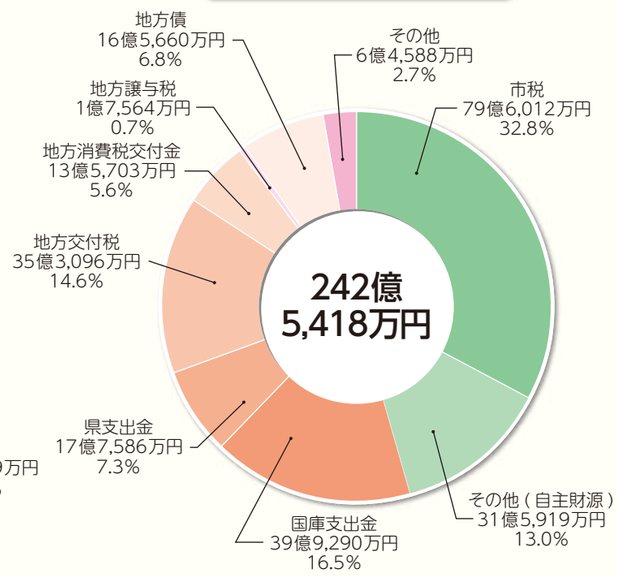
一般会計 歳出決算構成



扶助費…生活保護や児童・高齢者・障害者福祉などの給付に充てる経費
投資的経費…道路、橋梁、学校、公営住宅の建設等、社会資本の整備等に要する経費
その他…維持補修費・積立金・投資及び出資金・貸付金など

歳入 242億5,418万円

一般会計 歳入決算構成



その他（自主財源）…ふるさと納税（寄付金）・使用料及び手数料・分担金及び負担金・繰越金が主なもの

Q 質問 「らんらんタクシー」利用助成の実績について

A 回答 令和7年度は、利用助成金額17,619,035円。年1回以上の利用があった実利用者数は、870人。年間利用件数は、20,353件。実利用者1人あたりの年間平均利用件数は、23.4回。

【参考事項】
運賃は、通常の半額程度。運行時間は、午前7時から19時まで。利用対象者は、75歳以上で運転免許をお持ちでない方または要介護1から5の方（年齢は関係なく）。

Q 質問 地域のきずなづくり支援事業について

A 回答 「自治会のデジタル化推進活動」の補助メニューは、自治会がデジタル化を検討する際に、「予算が無いため、経費が捻出できない」等の理由により、導入を躊躇するのを防いでいる一面がある。また、補助金に関わらず必要性を感じ自主的にアプリ等導入している自治会も複数あり、役員間ではLINEで情報共有する自治会が多く、徐々にデジタル化が進んでいる。

Q 質問 防災備品購入費のトイレカーについて、2台の使用頻度と今後の利活用は？

A 回答 災害時におけるトイレ問題への関心を高め、携帯トイレの備蓄を推進するなど市民等への啓発展示に活用している。

また、災害時の避難所等での運用方法を検証するためのトイレ使用や女性消防団への操作研修など、これまでに10回程度活用している。

今後も市のイベントなどで防災に係る啓発展示に活用するとともに、職員等への操作方法や運用方法（給水・排出時の注意事項等）を研修指導し、いざ災害が発生した場合にも取り扱いできる者を増やすことを考えている。



令和7年度は5自治会が当該補助メニューを利用しているが、無料情報共有アプリの導入など多額の費用は発生しないケースが多い。

令和8年度は多文化共生補助メニューを追加、今後も社会課題に対応する事業とするため、適時検討し見直していく。

Q 質問 障がい者、障がい児を対象とした日中一時支援事業の利用状況の推移を伺う。

A 回答 本事業は、障がい者、障がい児の日中における活動の場を提供することにより、その家族の就労や一時的な休息のための支援を行うものである。

ここ3年の利用状況の推移をみると、障がい者については、例年35名程度の利用で推移している。

障がい児については、令和5年度7名、令和6年度5名、令和7年度19名となっている。令和7年度には放課後等デイサービスの事業所に併設する形で、新たに事業所が1か所開設されたため、潜在的なニーズを充足する形で利用が増加している。

Q 質問 産後ケア費用助成経費の増加（1,830千円→4,179千円）の要因は？

A 回答 令和6年度までは、対象を心身の不調や育児不安がある方に限定していたが、こども家庭庁の産後ケア事業ガイドラインの改正を受けて、令和7年4月から「希望するすべての母親」に変更したため、利用者が増加した。

また、令和7年4月から県の集合契約に参加したことにより、利用できる施設が増えている。出生数は減少しているが、サポートを必要とする母親は増えているため、一時的な要因であるとは考えにくい。

Q 質問 ふるさと納税が過去最高！要因は？

A 回答 主な要因は、①市外で製造等がされた返礼品でも、製造者が価値の大半が区域内で生じたことを証明し、総務省の認定を受けたものは返礼品として出品できるため、家具や防犯用品等を充実させた。（家具等インテリア商品前年比977.4%）②イラン情勢等の影響で日用品が人気になっており追い風となっている。（ボディーソープ等前年比110.5%）③「神戸牛」では市外卸売業者を活用し品揃えを強化した。（肉・肉加工品前年比111.1%）④「楽天超ふるさと納税祭」のイベントに出店した。



Q 質問 #7119（救急医療対策事業）の利用実態と、消防職員の負担軽減等の評価は？

A 回答

運用開始（令和7年7月11日）以降、小野市における「#7119」の対応件数は849件。そのうち医療機関案内が325件、救急医療相談が437件、その他が87件。消防本部への119番や加入電話への市民からの病院照会件数は令和6年度の同期比で36％減。件数にして671件の減少となり、1件あたり約3分の対応所要時間と仮定すると約34時間の削減効果となり、その分、本来の消防通信業務が適正に行え、通信指令業務全体の負担軽減に繋がっている。

Q 質問 学校教員の内208人についてテレワークが実施されているが、働き方改革に繋がっているのか。現場での運用はどのように行われているのか。

A 回答

本市の教員の約半数が子育て世代の年代であり、介護などの個別の事情を持つ教員を含めると全体の7割を占めている。テレワーク環境での働き方の実現はワークライフバランスを意識した時間の有効活用の観点から好評を得ており、働き方改革に繋がっている。

現実の運用としては、事情がある場合の便宜的対応と捉えて実施している。個人情報を取り扱うテストの採点等はテレワークで行わず、翌日の授業の準備や、行事計画の立案などを行っている。



Q 質問 大阪・関西万博体験学習について、参加した児童生徒の反応や感想、本事業を通じて得られた教育的効果をどう評価するか？

A 回答

児童生徒からは「国際理解教育への興味・関心が高まった」「先進技術に触れることで理科教育への意欲が高まった」など、参加者の9割以上が、肯定的な感想であった。

学校での事後学習では、様々な国について調査し発表する機会を設けるなど、国際理解教育への取り組みにもつなげることができたと大いに評価している。



児童生徒の大阪・関西万博での体験学習を支援



“夏のおの恋” 小野まつり・おの恋おどり



池尻町の神戸電鉄踏切拡幅工事が完了



小野東小学校の学童保育施設を整備



市民開放井戸の水質検査を実施

第460回 9月定例会

会議期間29日間（8月28日～9月25日）

市長提出議案……13件（決算4件・補正予算6件・条例3件）

審議議案の中から PICK UP!

一般会計補正予算第2号（議案第40号）

地域農業構造転換支援事業経費（農業用機械の導入補助）

《事業内容》
地域の中核となって農地を引き受ける担い手の経営改善に必要な農業用機械の導入を支援します。

《支援対象》（予定）
経営改善に資するスマート農業機器等の導入経費

《補助率》
県補助金　事業費の3／10以内
　上限　個人1，500万円以内
　　法人3，000万円以内
市補助金　県補助の1／10以内の額を随伴補助

《補助額》
2，585千円



（議案第46号）

小野市税条例の一部を改正する条例の制定について

《主な改正内容》

【個人住民税】
セルフメディケーション税制（特定一般用医薬品等購入費を支払った場合の医療費控除の特例）の適用期限を撤廃するものです。
（令和9年1月1日施行）

【固定資産税】
固定資産税の免税点（固定資産税が課せられない課税標準の合計額）を変更するものです。
（令和9年4月1日施行）

免税点（固定資産税が課せられない課税標準の合計額）を変更

	改正前	改正後	差額
土　地	30万円	30万円	—
家　屋	20万円	30万円	＋10万円
償却資産	150万円	180万円	＋30万円

（議案第48号）

小野市白雲谷温泉ゆぴかの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

現在、鍬溪温泉きすみのの郷を運営している地元団体の運営者の高齢化や後継者不足により、事業の継続が困難な状況にあるため、白雲谷温泉ゆぴかの別館として位置づけ、2つの温泉施設を一体的に運営しようとするものです。
（令和9年4月1日施行）



鍬溪温泉の料金等		平日	休日
大　人	1回券	800円	900円
	10枚以上一括購入した場合	1枚あたり 750円	1枚あたり 800円
回数券	11回券	8，000円	
	23回券	16，000円	
小　人	1回券	400円	450円
	10枚以上一括購入した場合	1枚あたり 375円	1枚あたり 400円



ここが聞きたい一般質問!!

市民のみなさまの生活に関わることについて、11人の議員が一般質問を行いました。

（一般質問は発言した議員が編集しました）

●一般質問とは……

市政全般にわたり、執行機関（市長）に対し事務の執行状況や将来における政策方針等について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。
また、小野市では、市長から提出された議案についても一般質問することができます。

●質問テーマは？

1. 質問する内容は、議案とは関係なく議員個人が自由に決めています。
2. 議員個人が自分なりの問題意識を市政に問い、市の見解を求めます。



●質問の制限時間は？

1人あたりの制限時間は40分です。（答弁は含みません）



《一般質問をスマホ・タブレットで視聴できます！》

各議員の顔写真の下の QR コードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。

生命の安全教育で子どもを守る！

村本洋子議員（公明党）



QRコード

質問 発達段階に応じた適切な生命の安全教育について

答弁 従来の性教育に加え、性暴力への加害・被害を防ぐ力の育成を教科横断的に進める。また、授業後に個別相談ができる体制を構築することも踏まえ、発達段階に応じた指導を心がけていく。（市当局・教育長）

質問 拡大新生児マススクリーニング検査の費用の無料化や助成について

答弁 国におけるモデル事業の段階であり、拡大された9種類のすべての病気に関する治療効果の検証ができていないため、国の動向を注視しつつ医療機関と連携を行い引き続き検討。（市当局）

質問 リトルベビー（低出生体重児）への取組は

答弁 出生体重が1,500g未満のこどもの保護者に「ひょうごリトルベビーハンドブック」を出産した医療機関で配布。支援については直接的な助成制度は設けていないが、妊娠期からの切れ目のない支援として妊婦支援給付金10万円を有効活用していただきたい。（市当局）

質問 学校における防火・安全対策について

答弁 電気・防火設備の安全点検は年2回の専門業者による点検に加え、毎月教職員全員で学校安全点検表を活用し実施。避難経路の見直しや障害物の撤去を行い、全ての学校で2方向以上の安全な避難経路を確保。避難訓練では、発煙機や避難経路の選定訓練、水消火器を使用した模擬消火体験など児童生徒にとっていざという時に役立つ訓練を実施。（市当局）

各議員の顔写真の下の QR コードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。

提出議案と審議結果



全会一致で可決した議案

区分	議案番号	議　案　名
決算	第 36 号	令和７年度小野市歳入歳出決算の認定について
	第 37 号	令和７年度小野市都市開発事業会計利益の処分及び決算の認定について
	第 38 号	令和７年度小野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
	第 39 号	令和７年度小野市下水道事業会計決算の認定について
補正予算	第 40 号	令和８年度小野市一般会計補正予算（第２号）
	第 41 号	令和８年度小野市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）
	第 42 号	令和８年度小野市介護保険特別会計補正予算（第１号）
	第 43 号	令和８年度小野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）
	第 44 号	令和８年度小野市水道事業会計補正予算（第１号）
	第 45 号	令和８年度小野市下水道事業会計補正予算（第１号）
条例	第 46 号	小野市税条例の一部を改正する条例の制定について
	第 47 号	小野市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について
	第 48 号	小野市白雲谷温泉ゆぴかの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

河島信行 議員（躍進の会）



QRコード

浄谷野球場の早期の整備を！

答弁 防災機能を備えた硬式野球場を整備する。

質問 近隣の「三木総合公園野球場」、「アラジンスタジアム（加西球場）」に負けない野球場の整備を期待するが、整備計画を伺う。

答弁 国の補助事業を活用し、バックネット、内外野フェンス、グラウンド整備用の散水を含む水道設備等の付帯設備など、「基本・実施設計業務」で総合的に検討を進める予定である。（市当局）

質問 公設コンビニは下東条地区の皆さんで運営され、6年目を迎えているが、運営を引き継ぐ後継者問題等で運営の継続は課題があり、閉店の方向であると聞き及んでいる。民間委託の可能性は？

答弁 公設コンビニは、買い物弱者の支援、地域コミュニティの場の創出等を目的としていることから民間委託は考えていない。（市当局）

質問 ネーミングライツ（公共施設の命名権の売却）による税収確保を！

答弁 ネーミングライツは、自治体の新たな財源を確保する目的で県内の一部の自治体で実施されているが、本市において、施設の名称は公募により決定し、市民に親しまれ、愛着を持っていただいており、また、ネーミングライツによる収入は年間数十万円程度で、財源としては大きいものとは言えないことから考えていない。（市当局）

質問 白雲谷温泉ゆぴかの休日の営業時間を早めないか？

答弁 イベント開催や緊急時等には、一時対応として開館時間を変更する場合はあるが、現在のところ営業時間を変更する予定はない。（市当局）

安達哲郎 議員（躍進の会）



QRコード

第9弾らっきゃらっきゃ券事業を！

答弁 国の動向を注視し、実情にあわせ検討していく。

質問 18歳以下に1万円、65歳以上に5千円を配布する第8弾のらっきゃらっきゃ券事業が現在行われている。「19歳から64歳」も物価高で困っている現状を踏まえ、働き世代を対象に「第9弾らっきゃらっきゃ券事業」をやってもらえないか？

答弁 物価高騰対策においては、本来、国の税制・社会保障制度の中で対応すべきで、今回対象から外れた世代への支援が不足しているという認識はない。今後も引き続き国の動向等を注視しながら、市の実情にあった効果的な物価高騰対策を検討していきたい。（市当局）

質問 おのスキッとポイント事業をさらに拡大していくために、現在スポーツ施設利用時に付与される2ポイントを10ポイントに増やし、若者を中心に利用者数を増やす取組をしてみては？

答弁 運動や健診のきっかけづくりのために行っている事業であり、ポイントを引き上げて参加者を増やすことは考えていない。（市当局）

質問 乗合型AIオンデマンド交通実証実験の目標値は？

答弁 具体的な目標値を設定することは事業の継続性の観点から重要であるが、今回の実証運行では、アプリをつかった乗合型オンデマンド交通という新たな取組が、市民に受け入れられるかの確認と、多様な移動ニーズに応える選択肢を持続可能な形で増やすことができるかということが優先事項であるので、目標値は設定しない。（市当局）

各議員の顔写真の下の QR コードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。

前田光教 議員（市民クラブ）



QRコード

大型事業が進む小野市の財政は？

答弁 税収確保！必要な投資を先送りせず確実に。

質問 青野ヶ原台地（夢の森・かわい快適の森）の管理状況について

答弁 夢の森公園のトイレや植栽は週3回、法面の除草は年1回業者委託をしている。設置から27年経過する滑り台も月1回の点検を行っている。かわい快適の森は、平成14年度に整備され、地権者と市との間で管理協定書を締結し、遊歩道を中心に地域と連携して管理をしている。（市当局）

質問 土木系技術職の確保と育成について

答弁 職員が業務に慣れ、専門性を高められるよう、職場におけるOJT（実践的な教育）を基本とし、これにOFF―JT（体系的学習）を組み合わせ、実務と知識の両面から成長をバックアップしている。また、各資格取得では、受験・受講料の助成をし、スキルアップに取り組みやすい環境づくりに努めている。（市当局）

質問 大型事業が進む小野市の将来像（財政見通し）について

答弁 大型事業の総額は4百億円を超えると想定され、他市との広域連携による負担の分担、補助金や有利な地方債等を活用し、今後10年間の小野市の実質的負担額は50億円以上を見込んでいる。
現状、財政の硬直化は一定程度進むが、小野市の資産価値を高め、税収確保に取り組み、対応する。人口減少と不透明な経済環境の中にあっても「必要な投資を先送りせず」確実に進め、将来世代への負担を最小限に、持続可能なまちづくりと財政運営を進める。（副市長）

前田昌宏 議員（おの未来図）



QRコード

どう減らす　耕作されてない農地

答弁 農地の斡旋は検討課題。現況の組織では困難。

質問 耕作されていない農地をどの程度把握しているか。

答弁 市内の農地約2，250ヘクタールのうち、約17％の約382ヘクタールが耕作されていない。内訳は、草刈り等により農地の機能を保持する「保全管理」が約350ヘクタール、保全管理も行われていない「荒廃農地」が約32ヘクタール。（市当局）

質問 継続的に把握できるか。

答弁 農業委員会による農地パトロールや農業計画書のデータ等から把握できると考える。（市当局）

質問 「貸したい所有者」と「借りたい担い手」をつなぐ取組はできないか。

答弁 理想的な考え方ではあるが、現状の組織では農地の斡旋までは困難。所有者の意向を確認し、担い手と成約するには相当な労力が必要で、これには担当部門の増員や、農業委員会と連携する体制の構築が必要。（市当局）

質問 緊急車両等の燃料の優先供給に係る協定について
市は、兵庫県石油商業組合小野・加東支部小野ブロックと協定を結んだ。特徴は何か。

答弁 災害時に市が必要とする燃料数量（ガソリン4，000リットル、軽油2，000リットル）を明記し、平時から販売店のタンク内に常時必要数量を保管し、日常業務の中で入れ替える方式を組み込んだ。（市当局）

質問 組織と人員をどこが負担し、役割をどうするかが今後の課題。本来すべき県も対応できていない現状で、市が請け負って実施するとまでは答弁できない。（市長）

各議員の顔写真の下の QR コードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。

平田真実 議員（創生おの）



QRコード

自治会役員の負担軽減を

答弁 配布物や依頼事項など実態把握し見直す

質問 各課から自治会・区長会等へ依頼している配布物や行事・会議への出席、区長会・まちづくり協議会等から自治会に依頼している事項など、自治会役員の負担となり得る協力依頼事項の現況と市の認識は。

答弁 持続可能な自治会体制維持のため、負担軽減と地域活動の充実に取り組む必要があり、配布物の量を減らせるよう今後も随時見直していく。また、行事への出席依頼等について現在実態把握を進めており、市政の一端を知っていただく必要性は踏まえつつ、代表区長会等とも協議の上、見直していく。（市当局）

中心市街地のこれからのあり方について

質問 商店街魅力アップ支援事業については、商店街内で店舗貸出しを希望する所有者がいない状況とのことで、「商店街に新しいお店を増やす」という商店街振興は、限界に来ているのではないか。市長は28年間にわたり都市構造をつくってこられたが、中心市街地のあり方について次の市政にどのようにつなげたいと考えておられるのか問う。

答弁 正直に申し上げ、商店街の活性化について心残りはある。にぎわいや拠点づくり等の機会を設けてきたが、所有者の意向など克服すべき課題がある。商店街はゼロベースで思い切った再構築をするなど、洞察力と構想力で、今の状態とは全く違う青写真を描く対応が次世代に求められていると考えている。（市長）

河島三奈 議員（市民クラブ）



QRコード

ゴミ有料化の実施時期は予定通りに？

答弁 現在の情勢を鑑み、時期は延期するしかない

質問 当初は、6月定例会でのごみ有料化関係議案上程を予定されていたが、見送られた理由は？

答弁 ごみ有料化については、実施のための市民への説明会等の取組を進めてきたが、いわゆる「ナフサショック」のため、指定ごみ袋の価格の決定が困難であると判断し、上程を見送った。有料化の実施には、議案の議決を得た後、概ね1年の期間を要することから、今回の見送りに伴い、来年7月を想定していたごみ有料化の実施についても、延期せざるを得ないと考えている。現在も依然として状況が見通せないため、具体的な実施時期は明示できないが、市場動向等を注視しながら、適切な時期を判断していく。（市当局）

救急安心センター#7119について

質問 開始から、ちょうど1年が経過している現在の利用実態は？また、救急車の適正利用の観点からみて、効果は出ているのか？

答弁 小野市においては、#7119に約1，350件の相談があり、緊急性が高い症状と判断され、救急出場した件数割合は8.8％で、相談の結果90％以上が救急出場に至っていない状況である。結果的に救急出場の件数の減少の要因の一つになっていると考えられ、効果は出ていると認識している。また相談者の年齢別では65歳以上の利用が全体の30％を占めている。（市当局）

各議員の顔写真の下の QR コードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。

掘井ひさ代 議員（おの未来図）



QRコード

「不動産」を「負動産化」しない

答弁 セミナーや個別相談会等を開催し、意識改革を促進

質問 空き家問題解決の鍵は、親が元気で判断能力があるうちに親子で実家の将来を話しあっておくことである。今回のセミナーの成果、今後の発生予防対策は？

答弁 市民と空き家問題に対する「危機感」を共有し、「対策への意識」を醸成する点で大きな成果があった。今後は対象を、自宅で元気に暮らす高齢者やその家族へ広げ、将来を見据えた事前対策セミナーや相談会を開催する。また、ＬＩＮＥやＳＮＳを活用し市外在住者や幅広い年代にセミナーや補助金制度等を周知していく。（市当局）

質問 一人暮らしの高齢者の死亡や施設の入所により、一気に「空き家化」「相続問題」が発生するケースが多い。そこで、福祉部門と連携・情報共有し、早期に相談・支援につなげる仕組みが必要と考える。自宅の今後の意向を確認するチェックシートの導入や、空き家相談窓口・事業の案内を、福祉冊子「人生手帳」「かいごの本」配布時に添付し、次回改定時には追記することを提案するが、考えは。

答弁 施設入所が空き家発生になる一因であり、そのタイミングで空き家制度の情報提供や冊子の活用は有効であると考える。また、福祉部門との連携については今後前向きに検討し、情報共有を通じて互いの課題解決にもつなげていきたい。まずは周知を図り、早期相談につなげることが重要と認識している。（市当局）

宮脇健一 議員（日本維新の会）



QRコード

温泉施設の魅力向上について

答弁 非日常の上質な体験を提供していく

質問 白雲谷温泉ゆぴかの維持管理について。

答弁 白雲谷温泉ゆぴかの維持管理については、中長期整備計画に基づき、空調機やボイラー等の主要な機械設備等について、耐用年数等を考慮しつつ、長寿命化を図りながら適切な時期に、計画的に更新、修繕を実施している。

また、この整備計画は、状況に応じて適宜見直しを行っており、最近の見直しでは、令和6年度に入浴料の見直しが行われた際に合わせ、令和元年度の大規模リニューアルの15年後には、機械設備等の耐用年数に鑑みて同規模のリニューアルが必要になることを想定し、使用料の設定にも反映させている。（市当局）

質問 白雲谷温泉ゆぴかと鍬溪谷温泉きすみのの郷、それぞれの特性を活かした今後の方向性について。

答弁 白雲谷温泉ゆぴかは、市民の健康づくり及び交流によるまちづくりを目的とし、やすらぎの場、非日常の上質な温泉体験を提供すること等をコンセプトとして運営を行っていく。

鍬溪温泉きすみのの郷は、天正10年に湧き出した塩の井を源泉としており、４００年以上に渡る歴史がある。これまで秘湯として地域住民の皆様によって守られ、また地域コミュニティの場として親しまれてきた。市としても、鍬溪温泉が持つ歴史的な重みを引き継いでいく。

今後もそれぞれの施設がお互い引き立てる形になるよう、創意工夫を凝らしながら取り組んでいく。（市当局）

各議員の顔写真の下の QR コードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。

藤原　章 議員（日本共産党）



QRコード

米作りを守るよう国に支援要請を

答弁 米作りは日本の原点だ。国には要請する。

質問 生産者米価が今年は大幅に下落し、国の「コスト指標」から見ても安価で、農家は苦しい状況であると考える。全国市長会などで国に対策を要請していただけないか。

答弁 昔は米がもっと高かった。消費者の意識改革が必要である。米価高騰で弱者支援が必要なら市がする。国には要請していく。（市長）

水田活用交付金について

質問 麦・大豆・飼料作物などに支払われる水田活用直接支払交付金の来年度から変更点を、耕作者に早期に説明する必要があるのではないか。

答弁 従来の「定額の面積払い」から収量実績に応じた形に変わり、収量に応じて単価が変わることになる。まだ詳細は決まっていないが、できるだけ早くお知らせする。（市当局）

有機農業の推進について

質問 有機農業を推進すれば、自然や生態系を守り、健康を守ることにもつながると考える。有機農業を支援・推進する考えは。

答弁 現在活用している「環境保全型農業直接支払交付金」の継続に加え、県が実施している有機農業推進に係る広報活動、研修会等と連携した取組を進めていく。（市当局）

質問 農業を行っていない市民の方々に向けて、「自分で作って自分で食べる」ことを推進していく考えは。

答弁 市では現在、市民農園の募集を行っており、区画に空きがあるため、紹介することができる。市民農園でニーズが足りている状況のため、特に推進する考えはない。（市当局）

髙坂 純子 議員（無会派）



QRコード

ストーマ装具類給付基準額引き上げを

答弁 現段階では、引き上げない。

質問 多くのオストメイトの方々が参加する研修会で、切実なお声を聞いた。この夏の異常な暑さ、物価高騰の影響で装具類の負担が大きい。県内29市の中で17市は引き上げている。北播磨・丹波地区で引き上げてないのは小野市と三木市のみ。基準額の引き上げはできないか。

答弁 国に対して基準額を決めて欲しいと申し入れているところ。一方で、国に申し入れをしている現段階で、要望があれば金額を変えるというのは一つの方針が崩れ、政策の申し入れの整合性が無くなる。もう少し今の状況を貫いていくのが筋ではないか。（市長）

※ストーマ装具とは人工肛門・人口膀胱から出る便や尿を受けるための装具

災害に備えた強靭な水道について

質問 基幹管路の耐震化の取組は。

答弁 管路が耐震管に更新され、耐震適合率83．9％に上昇した。県下29市の中で耐震化が一番進んでいるのが小野市。（市当局）

※基幹管路とは浄水場と配水池を接続する管路及び配水池と各施設へ接続する管路

質問 災害時の対策は。

答弁 ①水道施設の防災対策の推進②危機管理システムの充実③地域、他自治体、企業との連携強化を行っている。また、他の自治体と合同による各種訓練への参加や、水道部職員による給水訓練の実施に加え、地域住民を対象とした給水訓練を行うなど災害対応力の向上に努めている。（市当局）

各議員の顔写真の下の QR コードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。

常任委員会審査報告

9月定例会の提出議案審査について、予算決算、総務文教、民生地域の各常任委員会を開催し、当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。

≪予算決算常任委員会≫（令和7年度決算はP2～4をご覧ください。）

9月15日、16日開催

付託議案数：10件（議案第36号～第45号）

審 査 結 果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

●主な審査内容

補正予算については、一時閉館を伴う鍬溪温泉きすみのの郷の修繕工事にかかる市民への影響や、新都市南北道路の法面の湧水対策の内容等について確認を行いました。

決算議案については、事業毎の実施状況や効果について確認を行い、とりわけ、子育て政策では、新たに専用施設を設置した小野東小学校の学童保育充足率の改善状況や今後の利用者の見込みなど、基盤整備の面では、一般道路整備事業や橋梁メンテナンス等の工事の進捗や繰り越すに至った状況の確認など、詳細に質疑を行いました。

また、全会計の決算状況についても、市独自で定めたガイドラインを依然としてクリアし、健全財政を維持していることを確認しました。

≪総務文教常任委員会≫

9月18日開催

付託議案数：1件（議案第46号）

審 査 結 果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

●主な審査内容

医療費控除の特例、セルフメディケーション税制の適用期限の撤廃や、暗号資産の課税方法が雑所得の総合課税から譲渡所得の申告分離課税に変更されること、固定資産税の家屋や償却資産の免税点の変更など、議案について詳細に確認を行いました。

≪民生地域常任委員会≫

9月18日開催

付託議案数：2件（議案第47号～第48号）

審 査 結 果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

●主な審査内容

鍬溪温泉きすみのの郷を白雲谷温泉ゆぴかの別館として位置付けるにあたり、ゆぴかとの連携方法を確認するなど、各議案について詳細に確認を行いました。

民生地域常任委員会視察報告

令和８年７月15日(水)～令和８年７月17日(金)

★「ひきこもり支援ステーション『はつすて』」について（広島県廿日市市）

本人への支援としては、「個別相談」「社会参加支援」「就労支援」の３つの柱で取り組まれていました。「居場所」の提供においては、単に自由に過ごせる空間の確保にとどまらず、就労継続支援Ｂ型事業所等と連携した軽作業を実施しています。これにより「人の役に立っている」という自己肯定感の醸成や、参加者同士の交流を生む仕掛けがなされていました。さらに「家族会」では、精神科医や就労継続支援Ａ・Ｂ型事業所の職員による講話のほか、企業・工場・職業訓練校への見学などを実施しており、具体的な知識の習得と社会復帰に向けたイメージ共有が図られていました。



★「健幸都市こうし」の実現に向けたフレイル予防と認知症予防について（熊本県合志市）

合志市では、「健幸都市こうし」の実現に向け、高齢者への切れ目のない支援として多種多様な教室やサロンを開催し、地域のつながりの中で孤立・閉じこもりを防ぐフレイル予防および認知症予防を地域全体で推進しています。特に「UD e スポーツ」を活用した認知症予防プログラムは、ボタン１～２個の簡易操作や運動会を模したゲーム構成など、高齢者に配慮した工夫が施されています。これにより、記憶力や判断力といった認知機能の維持・向上にとどまらず、遠隔地に住む家族とのコミュニケーションや見守り機能の役割も果たしています。加えて、従来の介護予防アプローチでは参加に繋がりにくかった男性層を惹きつける、極めて効果的な手法となっている点が非常に特徴的でした。



★農の応援事業・アグリチャレンジ事業・女性農業者育成事業について（福岡県福岡市）

研修機関や市・農業委員会・JA 等が一体となった支援体制により自営就農を促す「アグリチャレンジ」や、女性未来農業サポーターを指導者として女性視点での経営・加工・販売まで学べる環境が整備されており、多様な担い手の育成に着実につながっていると感じられました。

また、広報や求人サイト等を活用した「農業ヘルパー事業」では、令和６年度の登録者が 67 人に達し、近年では大学生の参加も増えるなど、時代のニーズに応じた機動的な労力確保が進められている点も大変参考になりました。





★《視察を終えて》

いずれの自治体においても、地域住民や関係機関との強固な連携のもと、地域の特性や時代の要請に即した施策を展開し、それらを継続的に運用するための体制構築が進められており、本市における今後の施策推進に向け、極めて有意義な視察となりました。

議会調査研究活動

小野市議会では、議会の審査機能の強化・政策提言能力の向上のため、議会の公務として真に必要な調査・研究活動を見定め、調査研究活動を行っています。

議員派遣

各議員の報告書は、こちらから!!

令和８年９月25日に派遣議員から視察内容に関する報告を受け、議員間で情報共有を行いました。



派遣議員	派遣日	派　遣　先	内　　容
安達哲郎	4月20日～21日	全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市）	第1回市町村長等・議会議員特別セミナー ・対話と挑戦で切り開く自治体経営 ・観光と地方創生　など
安達哲郎	7月27日～28日	全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市）	第2回市町村長等・議会議員特別セミナー ・食と農で紡ぐ「持続可能なまちづくり」 ・生成 AI は議会をどう変えるか？　など
安達哲郎	8月1日	オンライン受講	「野良猫問題」を解決に導く「地域猫活動」の必要性

トライやる・ウィーク！（後半の部）中学生が本会議場見学

９月７日にトライやる・ウィークで河合中学校の８年生２名が来てくれ、議長が議場を案内しながら議会の役割や、議員の活動について紹介しました。

また、正副議長室をはじめ、委員会室や各議員の会派室なども案内し、短い時間でしたが、市議会のことも少しは理解してもらえたかなと思っています。



議会と市民との懇談会

＼申込はこちらから／



議員とお話ししてみませんか？



小野市議会では『開かれた議会』をめざして、市内で活動しておられる団体の皆さまから議会との懇談会のお申し込みを受け付けています。

テーマ

①市政に関すること
②市議会に関すること
③その他、市の重要な事項に関すること
いずれかに該当するテーマ１件でお申込みください。

対　象

概ね 10 人以上で活動している団体で、市内において社会活動等を行う団体及び市民団体



発行日/令和8年11月1日　発行・編集/小野市議会　市議会報編集委員会　小野市中島町531

議会を傍聴しませんか？



令和8年12月定例会(予定)

※変更となる場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
11/22	23 勤労感謝の日	24	25	26	27 **本会議1日目** (10:00～) 議案説明	28
29	30	12/1	2 託児申し込みメ (10・11日分) 手話通訳・要約筆記 申し込みメ (10・11日分)	3	4	5
6	7	8	9	10 **本会議2日目** (10:00～) 一般質問 ※懇話会あり	11 **本会議3日目** (10:00～) 一般質問 ※懇話会あり	12
13	14	15 手話通訳・要約筆記 申し込みメ (23日分)	16 **予算決算常任委員会** (10:00～) **総務文教常任委員会** (13:30～) **民生地域常任委員会** (総務文教終了後)	17	18	19
20	21	22	23 **本会議4日目** (13:30～) 議案の採決など	24	25	26

※議会と市民との懇話会 … 一般質問を行う日の本会議休憩中に、傍聴者の方からご意見をいただく機会を設けています。

※託児コーナー開設 … 一般質問を行う12月10日(木)、11日(金)は、「託児コーナー」を開設します。
傍聴の際には、1歳から就学前のお子様をお預かりします。
12月2日(水)までに議会事務局までお申し込みください。(費用負担はありません)

※手話通訳・要約筆記 … 本会議を傍聴される際に「手話通訳」・「要約筆記」を利用することができます。
希望日の8日前までに議会事務局までお申し込みください。(費用負担はありません)

議会傍聴者数

9月定例会
19名
(令和8年度計51名)

傍聴方法

本会議の受付場所　市役所6階
傍聴者名簿に住所・氏名を記入
※入退場自由/定員38人
※耳が聞こえにくい方も傍聴できるよう磁気ループを設置しています。
各委員会の受付場所　市役所6階
傍聴者名簿に住所・氏名を記入

ネット中継視聴方法

本会議の様子をパソコンやスマホ等でいつでも視聴できます。(ライブ中継・録画視聴)過去2年分の録画中継が視聴できます。

小野市議会　検索

スマホで議会だより

マチイロ

アプリをダウンロードするとスマホに広報紙が届きます！

≪お申し込み先≫　議会事務局　TEL. 63－1006(直通)　FAX. 63－4108
E-mail:gikai@city.ono.hyogo.jp（市議会だよりへのご意見もこちらまで）

■あとがき

小野市議会だよりをご覧くださり、ありがとうございます。

今回の特集は「令和7年度決算の認定」です。

決算は市の予算がどのように使われ、どのような成果や課題があったのかを振り返る大切な機会です。

決算全体の概要に加え、予算決算常任委員会での審査の中から、個別の施策をQ&A形式で紹介しています。

市の取り組みや税金の使われ方を知るきっかけとしてご覧いただければ幸いです。

引き続き小野市議会の活動に、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(市議会報編集委員　河島　信行)

委員長　喜始　真吾
副委員長　村本　洋子
委員　掘井ひさ代
山本麻貴子
宮脇　健一
河島　三奈
山本　悟朗
河島　信行

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。